

環境と経済活動に関する懇談会



経済同友会および富士ゼロックスの取り組み

2003年4月9日

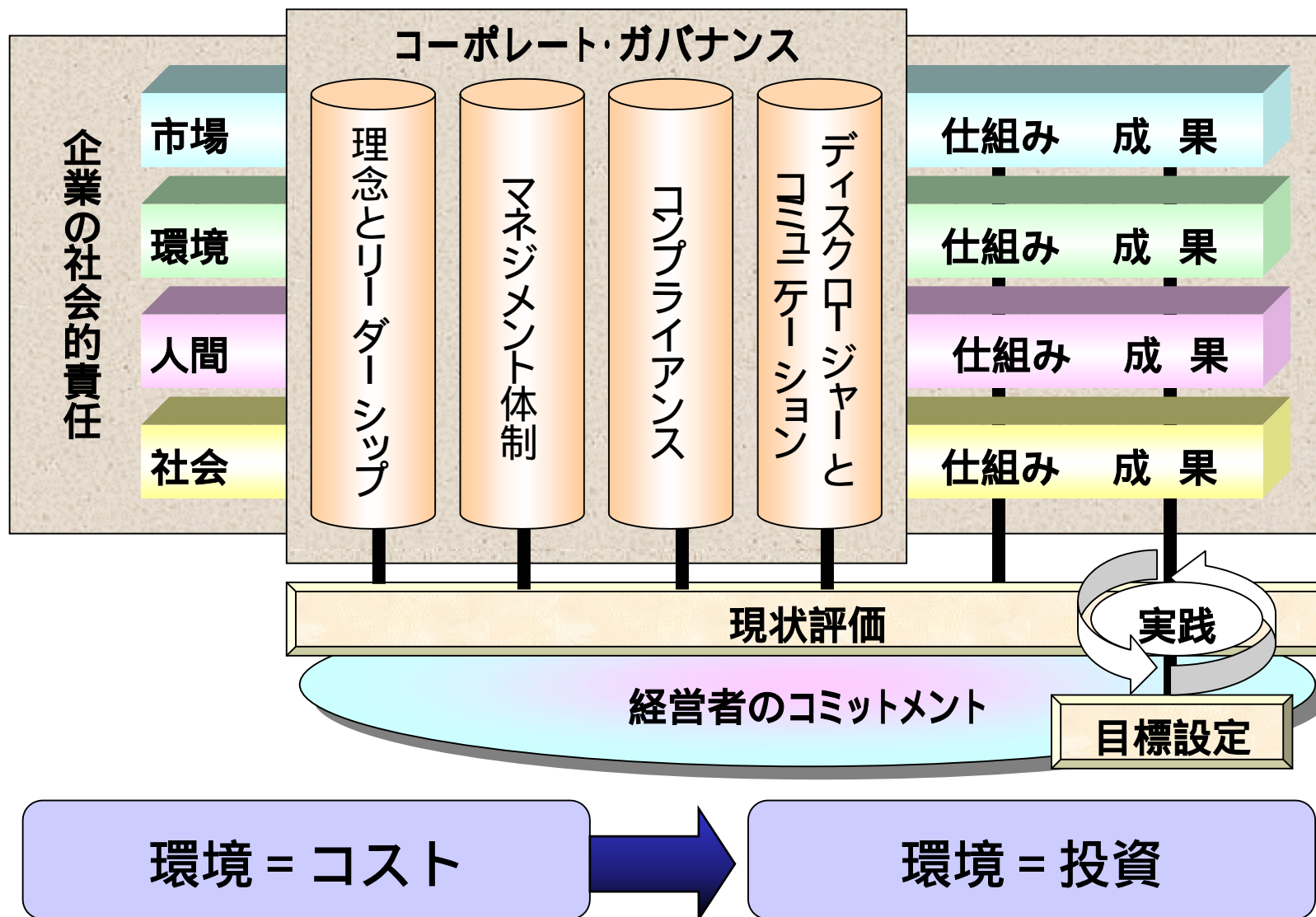
富士ゼロックス株式会社

小林 陽太郎

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX



環境への取り組みも、企業の社会的責任（CSR）の一環





持続可能な社会の構築に向けて、いかに具体的なステップを踏み出すか

地球温暖化対策

エネルギー自給率50%
イニシアチブ
(バイオマスエネルギー)

「森林再生とバイオマスエネルギー利用促進のための
21世紀グリーンプラン」(2003年2月発表)



環境問題に対する政治的なコミットメントの表明として、
「環境税」の導入はありえる

しかし、その前提として...

既存のエネルギー関連税制の
抜本的な見直し

「環境税」による税収の一般財源化
および
同額の減税実施による税収中立
民間のイノベーションを促す制度に



富士ゼロックスの「良い会社構想」：「つよい、やさしい、おもしろい」

徹底した循環型企業グループの実現

- ◇ 資源循環型システムによるCO₂削減
- ◇ 部品のリユースによりCO₂を30%削減
(平成12年度「資源循環技術・システム表彰」で経済産業大臣賞を受賞)

卓越した環境配慮型商品と 環境ソリューションの提供

- ◇ EAトナーは製造時のCO₂排出、35%減
- ◇ 環境配慮型商品によるCO₂削減
(省エネ大賞4年連続受賞)

C. 環境経営の基盤整備

環境意識の向上を図る。
指標管理システムを構築する。
環境経営マネジメント体制を整備する。

環境経営トップ企業を目指す

事業のあらゆる分野で、継続的なブレークスルーを引き起こし、エコロジーとエコノミーのシナジーを追求する。